## 14 12 木軍事産業が沸く

トラ

特需

6

再

編

読

筋

## WORLD 16 フ WORLD●情報

ランスが苦悩する「奴隷制賠償」 極右伸長で 「人権の国」が抱える矛盾と欺瞞

イツの絶望「人手不足」地獄

称カフセル

24 22 18 モサ 継レース」最新予測 倒」の執念 は止まられ |戦と絡む||政変模

28 海外破壊活動の猛威

タイ恒例 「タクシン政争」が再過熱 -投獄か「再亡命」の瀬戸際に

30

32 北朝 鮮 [] イラン支援

の深い契り

「世界最先端」が遠ざかる窮状

38 連載〈現代史の言霊〉7月の虐殺36 中東危機と「台湾有事」の酷似点34 中国「電子立国」の虚構と限界― 民進党政権が嘆く「3つの弱点」

旧ユーゴ・スレブレニツァ大虐殺(1995年)

治

政

48 46 [SNS選挙] その脆\* 石破|延命率 「SNS選挙」その脆さと落とし穴

都議選が示

した勝敗の分かれ道

低

急

52 連載〈政界スキャン〉「進次郎コメ劇場」の貧相な楽屋裏

⅓外務省依存|石破外交|の根無し草

石破を弄ぶ「木原誠」

一の亡国

国難演出と進次郎特需は、いずれも日持ちせ ず。都議選ショックそのままに、参院選で与党 過半数割れを喫すれば、石破は終わる。仮じ 首の皮一枚でもっても、秋には解散風が吹く。 その先の政界流動化は早い。(48頁)

> イランが軸のシーア派勢力は満身創痍。イスラエルは軍事力で春を謳歌する が、それも長くない。イラン核保有の悪夢は遠くなく、反シオニズムは根深く 広く過激化する。トランプの浅薄な平和の代償は大きい。(6頁)

創業家、いや章男によるトヨタグループ支配の強化。その手法に豊田家内からも不満と怒りが噴出。少数株主を顧みぬ不当なTOBにも怨嗟は渦巻 く。暴君・章男の独善で、グループ統治の悪化は不可避だ。(68頁)

社長失格「再任否

経

68 67

連載〈企業研究〉

■上場廃止「章男支配」の私利私欲 連載〈企業研究〉 世世田 自動地域後

連載〈クローズ・アップ〉佐藤英志(太陽ホ

みずほがマ.

レリで「完全敗北

72

食糧管理制度に「先祖返り」の暗澹

済

62 60

金融庁の愚策
企業価値担保融資

いわき信組の本丸「マネロン疑惑」ニデックの「次の獲物」はどこか―― ・部電力を鞭打つ「強面ファンド」(載〈地方金融の研究〉滋賀銀行-まだ続く 能天気経営「改悛」の好機となるか ||上作機械「企業漁り]

-の「魔の手」に怯える日

86 84 82 78 74

[黒貯金箱] 98

地方・僻地の医療を支える大義はどこへやら 実態は自治医大と総務省が共謀する利権装置だ 医師不足の窮状につけ込む脅迫ビジネスで稼ぎ 多額の補助金を吸い込む。誰も咎めぬ天下りの 楽園だ。(110頁) 108 106 100

社会・文化

社会・文 へ殺し「違法盛り土」は今も続く会・文化●情報カプセル

欧米「認知症減少」はなぜ起きた在日ユダヤ人が怯える「戦争の報復」―「増える敵」と特別を 「増える敵」と特別警備の限界

C横浜初等部に兆す影

『新幹線大爆破』半世紀ぶり改作に想うお受験「慶應ブランド」が下り坂――幼稚舎 ♠のサンクチュアリ●シリ 日本社会の耐えがたい空疎感

「大儲け」の拝金集団

88 皇室の風― 日本の科学アラカルト 金融の世紀―黒木亮 新・大学評判記 岩井克己

59 58 51 42 40 27 11 10

4 大往生考 ジ Book Reviewing Globe

―河井健司

交差点―読者の声・編集者の声新・危機管理のノウハウ

: 国内人事情報: 世界のキーパー

本に遇う -河谷史夫

-石井妙子

をんな干一夜

マスコミ業界ばなし

定時株主総会 会場